

## 会議要旨

### 【開催概要】

会 議 名 称	第二回富田林市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成 26 年 1 月 17 日（金） 15：00～16：45
開 催 場 所	富田林市消防本部4階 視聴覚室
出 席 委 員 (名簿順表記)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井上委員（会長）・開沼委員・横浜委員・中尾委員（副会長）</li> <li>・久米委員・福田委員・吉田委員・松村委員</li> <li>・西谷委員・杉分委員・天正委員・岡本委員</li> <li>・岡野委員・吉岡委員・松田委員・北谷委員</li> <li>・糸賀委員（計 17 名）</li> </ul>
欠 席 委 員	西尾委員
事 務 局	子育て福祉部：藤田部長、教育委員会教育総務部付：芝本部長 子育て福祉部：青木次長代理、教育委員会：澤口参事 保育課：辻野参事兼課長代理、大岡主幹 子育て支援課：寺元課長、谷田課長代理 ぎょうせい：木村
会 議 次 第	1. 開会 2. 会議資料の説明 3. 案 件 ・ニーズ調査の実施報告等について 4. その他 5. 閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	1人
そ の 他	なし

### 【議事要旨】

事務局  委員	<p>●昨年実施したニーズ調査の単純集計結果を報告する。</p> <p>◇就学前児童用アンケートの集計結果の表記の仕方で、例えば、P38の地域子育て支援拠点事業の利用状況などについて、この調査の就学前児童というと幼稚園などに通っている子どもとそれまでのいわゆる在宅の子どもが同じように集計されている。</p> <p>単純集計とはいえ、0歳から就園前と就園後から小学校に行くまでの年齢に区分して集計結果を出す必要がある。</p> <p>なぜなら、就園後から小学校に行くまでの年齢の子どもはこの事業</p>
---------------	---

	<p>の対象となっていないなのに、すべての年齢で集計してしまうと数が大きく違ってくる。0歳から就園前の子どもと就園後から小学校就学前の子どもで区分してほしい。</p> <p>次に、P36の一時預かりを利用したいという設問の中で、実際には一時預かりを実施していない「つどいの広場や子育て支援センターなど」への利用希望が38.6%となっているのは、普段利用している身近なところで子どもをみてほしいという在宅の子育て家庭の「一時預かり」の保育ニーズを示していると読み取れる。</p> <p>今後、アンケート調査の集計の方法については、0～2歳（就園前）や3歳以上（就園後）などの年齢別、フルタイムやパートタイムの就業形態別など、属性別に集計結果を提示願いたい。</p>
事務局	<p>●今回は全体の結果として単純集計を報告した。今後は年齢別や地域別など、属性別の集計結果が必要となる場合もあると思う。次回以降の「子ども・子育て会議」の審議の中で、就園前と就園後の児童、幼稚園に通園している児童、幼稚園に通園していない児童など、必要な属性別について集計結果を審議の資料として準備したい。</p>
委員事務局	<p>◇学童クラブ事業について説明してほしい。</p> <p>●現在、市内にある公立小学校16校すべてに学童クラブを設置している。対象となる児童は、保護者が働いている児童で、預かっている時間帯は、平日は学校が終わってから午後7時まで、土曜日は午後5時まで、長期休業中は午前8時半から午後7時までとなっている。利用者負担は児童1人につき1か月6千円、兄弟の場合は2人目が半額となっている。</p>
委員(質問者以外)	<p>◇子どもが通っているので内容を補足したい。学童クラブは午後5時までは自主的に帰宅できるが、午後5時～7時までは保護者の迎えが必要となる。また、7時以降は預かってもらえない。仕事で午後7時までに迎えに行けない保護者は、仕方なく子どもを5時に帰してもらっていると思う。親が帰宅するまでは家で子どもだけで過ごしている場合もある。そのため、こうした保護者の回答が14問の5で「子どもに自宅の留守番をしてもらう」22.7%の数字に含まれていると思う。保育園とはまた違うお迎えの方法になっている。</p>
委員事務局	<p>◇希望する児童は全員学童クラブには入れるか。</p> <p>●現在は、希望する児童はすべて利用しているが、待機児童をだしていない関係から、施設の床面積に対して過密になっているのが現状である。</p>

委員 事務局	<p>◇定数はないのか。</p> <p>●すべての希望者を受け入れている。例えば、施設面としては、40名で想定しているところに、50・60名入ってもらっているところもあり、過密にはなっているが待機児童については現在いない。</p>
委員 事務局	<p>◇学童クラブの指導者の割合はどうか。</p> <p>●児童40名を基本に2名の指導員が配置している。人数を加味し加配をつけている。</p>
委員 委員(質問者以外)	<p>◇学童クラブで病気になった場合の対応はどうしているか。</p> <p>◇学童クラブには学校にある保健室のような場所がないため、病気になった場合には、他の児童から離れた場所に少し休ませ、できるだけ保護者に早く迎えに来るように連絡しているところがほとんどだと思う。</p>
事務局	<p>●けがなどの場合には、すぐに保護者に連絡を行っている。また、すぐに駆けつけられない場合には、職員が病院に連れていくなどの対応をしている。</p>
委員	<p>◇今年度の予定では、子育て支援の現状・実績、重点課題の検討、ニーズ量及び教育・保育提供区域の検討、供給体制の検討することになっている。</p>
委員(質問者以外) 事務局	<p>◇現状・実績の資料に、事業ごとの費用の項目も加えて欲しい。</p> <p>●国の作業が遅れている影響もあるが、次回にご指摘の協議ができるよう、計画をまとめている状況である。次回には、資料をできる限り提示し、可能な範囲で要望に応える。</p>
委員 事務局	<p>◇調査結果を見ると、病児保育の利用が少ない印象がある。病児保育や急用時の一時保育などにどう取り組む考えか。また、集計結果はフルタイムやパートタイムなど就業形態別にだしてほしいと要望する。</p> <p>●病児保育サービスを充実させるためには、医療関係の職員を雇用しなければならないので現状では難しい。また、小児科との連携なども「子ども・子育て支援計画」の策定の中でも重要な検討課題だと認識している。</p>

<p>委員 事務局</p> <p>事務局</p>	<p>◇一時預かりの現状を教えてください。</p> <p>●現在、一時預かりを実施している保育園は、公立1園・私立3園で実施している。突発の時に利用してもらっているが、実際には保育園に入園できずやむをえず一時預かりを利用している場合もあると認識している。なお、新設する保育園では一時預かりを実施する予定である。緊急入園の対応も行っているが、年間数件の利用にとどまっている。</p> <p>●待機児童数は、昨年3月で87名、本年1月現在で39名。内訳は0歳児12名、1歳児22名、2歳児が5名という現状である。なお、待機児童については、認可保育所に入所申し込みをしているが、希望するところに入所できずにやむを得ずに待機している児童もいる。そうしたケースを加えると、実際にはもう少し待機児童数が多くなる。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>◇ファミリー・サポート・センターの利用が少ない、使いづらいという意見もある。児童館は人気があり、利用できないケースもある。</p> <p>●ファミリー・サポート・センターや児童館など、それぞれ、サービスごとの課題があると思う。ファミリー・サポート・センターは会員相互の互助組織である。利用はまだ少ないが、市としても利用促進に取り組んでいく。児童館も市民の要望を踏まえながら必要な改善を図っていきたい。</p>
<p>委員 事務局</p> <p>委員(幼稚園関係者)</p>	<p>◇幼稚園の預かり保育について教えてください。</p> <p>●公立幼稚園では預かり保育は実施していない。通常保育は午後2時までだが、月火木金の4日間に限り、午後3時まで希望者は利用できる。通園者の約8割が午後3時までの課業後保育を利用している。</p> <p>◇私立幼稚園の場合には、各園で内容が違っている。私どもでは開園は7時半から、閉園は6時30分までとなっている。長期休業中では、春休みの利用が特に多く、全園児の3分の1が利用している日もある。友達どうし家庭で遊ぶよりも幼稚園で遊ぶ方が安心できるということで、利用が多いと認識している。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>◇各委員は知りたい集計結果があれば、早めに事務局に連絡して欲しい。</p> <p>●国のニーズ量推計シート（ワークシート）の提示時期が遅れている。次回はその結果を含め、計画策定に必要と考えられるクロス集計を行い、提示する。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>◇会議は公開なので、開催日時の公表を早めにすべき。</p> <p>●市ホームページの「子育て支援課」サイトを立ち上げたので、次回以降はホームページ、貼り紙で早めに公表する。市広報は作成日程と開催決定時期の関係で間に合わない。</p>
<p>事務局</p>	<p>●次回の会議は、平成 26 年 3 月に開催する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>